

秘密（1952）

メディア 映画

ジャンル

製作国 日本

色彩 B&W

初公開日 1952/11/27

【解説】

中村八朗の小説『朝餉の歌』を、井手俊郎が脚色し久松静児が監督。1958年には原作と同タイトルでテレビドラマ化された。

母を亡くした槇家では、女中の美代が十六年にわたり家庭を支えてきた。ミッションスクールの校長である父の信太郎と次女の眞梨子、長男の秀樹は美代に全幅の信頼を寄せていた。しかし長女の由紀子だけは美代によそよしく接していた。その由紀子が会社から帰宅後、お腹を押さえて倒れ込んでしまう。医師の診断によれば、流産の手術が原因だという。美代は由紀子を献身的に看病し、流産のことも誰にも話さずにいた。しかし由紀子は美代をますます煙たがるようになってしまう。そんな美代のもとに兄から縁談の手紙が届いた。同じ内容の手紙を受け取った信太郎は、美代に「私と結婚してくれないか」と告白する。

【クレジット】

監督 久松静児

原作 中村八朗

脚本 井手俊郎

撮影 高橋通夫

出演 宮城野由美子

三田隆

若尾文子

船越英二

田中絹代